

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに (写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-36

<b>部門名：</b> 校内研修プログラム・実践部門	<b>エントリー名：</b> 静岡県立韮山高等学校 日吉 健久 平成 30 年度第 1 回中堅教員研修
<b>活動名：</b> ICT と AL を用いた授業 ICT の利用により多忙化解消	
<b>解決すべき課題：</b>	
① 生徒個々に対する指導の充実 ② 授業準備に関わる多忙化解消 ③ 形成的評価等の評価方法改善	
<b>目標・方針：</b>	
① アクティブラーニングを取り入れた授業の実践。 ② 本校各教室に配備されたプロジェクタの利用。 ③ 適切なアプリケーションにより、生徒の学習を助ける。	
<b>活動内容：</b> 構内に整備された ICT 機器（プロジェクタ等）を用いた教室において	
① 各生徒が、自宅（または学校）で与えられた課題をアプリケーション（ロイロノート）で提出 ② 教員が、提出されたロイロノートの解答を丸付け、添削を行い返却する。 ③ 授業時、生徒はグループにて返却された解答について、相談する。 ④ 次回の課題を配布する。 ⑤ 本時の授業を、デジタル教科書の画面を黒板に写し行う。	
<b>活動の成果：</b>	
・アクティブラーニングの導入による効果 生徒間で課題の解答を議論することで、内容をより深く理解した。 ・形成的評価における効果 生徒が提出した課題の添削時で不十分であった解答が、活動を行うことにより充分満足する理解となった。 ・多忙化解消における効果 教科書の提示により、板書の時間の短縮や、図形、関数の提示を行いやすくなり準備の時間等が軽減された。	
<b>アピールポイント（アイデアや工夫）：</b>	
① 今すぐにでも始められる。 ② 形成的評価を行うことが容易である。 ③ 生徒の解答を保存することにより、次年度以降の参考資料となる。	

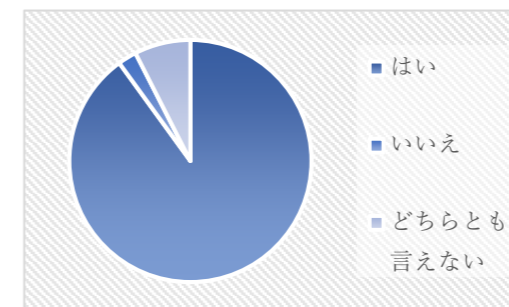
(写真 1) 黒板へ投射



(写真 2) グループ活動

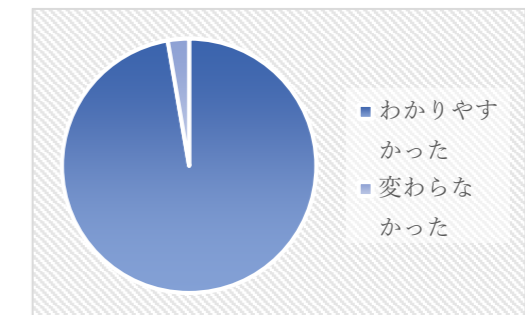


(グラフ 3) グループ活動により授業が分かりやすくなった



(主な理由) 友達に聞きやすかった

(グラフ 4) ICT の利用により分かりやすくなった。



(主な理由) グラフや図による説明が良かった

### 活動と育成すべき資質との関係

事前に解消できていない課題を把握から授業を開始



何ができるようになるか

互いに教え合い、新たな学びを得ることで、主体性や、論理力、表現力を養う。



どのように学ぶか

ICT 機器の利用により、時間短縮効果、および、視覚的に理解を助ける



何を学ぶか